

陳 情 文 書 表

(都市計画局)

受 理 番 号	3 9 5 2	受 理 年 月 日	令 和 5 年 2 月 8 日
件 名	北山エリア整備基本計画に関する議論等		
要 旨	<p>京都府策定の北山エリア整備基本計画は、約15万筆の見直しを求める署名が提出され、発表より2年が過ぎた今も府市による具体的な説明がなされていない。これについて京都府議会及び京都市会の議員の皆様は、どうお考えか。議会において以下の疑義に関し議論を尽くすようお願い。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 北山エリアは、京都府が提唱するにぎわいの創出や人々の交流の場より、豊かな自然、静かな環境、やすらぎ、憩い、学びなど今の落ち着いた雰囲気を壊さないでと多くの住民は願っている。 2 絶滅危惧種をはじめ貴重な植物が保存、植栽されている府立植物園の樹木を伐採し、なぜレストラン、ショップ、屋外ステージなどを建設するのか。バックヤードは本当に縮小にならないのか。 3 学生数が2,000人規模である京都府立大学の体育館を、なぜ1万人収容の巨大商業アリーナに建て替えなければならないのか。 4 1万人収容の沖縄アリーナの敷地面積は約22万9,500平方メートルである。同じ規模のアリーナを大学構内に建設すると、植物園のバラ園や大学の他の施設を壊さずに建てるのは物理的に不可能ではないか。 5 旧府立総合資料館跡地に建てるというシアターコンプレックス（複合劇場）は、隣接する京都コンサートホールや京都学・歴彩館ホールのほか、京都市内には同様の劇場ホールが数多くある。こうしたホールの稼働率から考えて、将来、無駄な施設と呼ばれる可能性があるのではないか。跡地は当面公園にという意見がある。 6 資料館跡地には宿泊施設と飲食施設も建設するとのことだが、これまで京都府が3回にわたって配布した北山エリアの整備についてという情宣チラシには一切触れられていない。なぜか。 7 同宿泊施設にはコンベンション施設（会議場）も併設するそうだが、近くに国立京都国際会議場や歴彩館があるのに何で必要なのか。これは有り体に言ってホテルの大宴会場ではないか。 8 この北山エリアは、第二種中高層住居専用地域で、法的にアリーナ、シアターコンプレックス、ホテルなどは建てられない。なぜ建てられない施設を整備基本計画に盛り込んでいるのか。 9 もし特例で建てるとするなら、京都市の許可が必要である。許可は得られているのか。 10 こうした施設を建設するとなるとばく大な建築費が必要のはずである。一体幾ら掛かるのか。税金を使うのだから、概算でもよいから総予算を明らかにしたうえで議論するべきではないか。 <p>ついては、以下のことを願う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 上記について議論を深めて、その内容を学区民に開示すること。 2 京都府・市に対して説明会を早急に開催するように申し入れること。 		
陳 情 者			
回付委員会	まちづくり委員会		